



DSO会長就任のご挨拶

私はJICAの長期派遣専門家として海外での勤務を2回、通算5年半ほど経験しました。約20年前にタイで、約15年前にネパールで、どちらも田舎で暮らし、農山村を対象とする、いわゆる社会林業（Social Forestry）のプロジェクトに携わりました。単純に森林を守る、増やすということではなく、農民を中心とする地域住民自らの手によって、地域住民に裨益する森林を育てていく、というコンセプトです。このため森林・林業がホームグラウンドである私も、社会科学、とりわけ村落開発や住民参加に関わる分野を学び活用することが不可欠でした。



タイに行くときに知った言葉にWID（Women In Development）があります。村落や開発における女性の重要性を認識し、その参画を促す様々な働きかけを行うものです。

ネパールに赴いたときには、より発展的な概念であるSocial/Genderを学びました。性差のみならず社会階層や民族など様々な理由で不利な立場にある人達への視点を持つ、ということです。

劣悪な土壌や干ばつや豪雨や病害虫といった厳しい自然条件への対応以上に、こうした社会的な状況、例えば村落の社会構造や男尊女卑の伝統、カースト制度などへの対応は重要であり、しかし厳しくもあり、しばしばエキサイティングでもありました。

少し自慢となりますが、私がリーダーを務めたネパールでのプロジェクトは、当時のJICAの住民参加型プロジェクトの中で最先端と言われていました（客観的証拠があります）し、ネパール国内においても欧米のそれらと比較して高く評価されていたと思っています（こちらは主観）。

また、2年ほど前まで、農林水産省林野庁の技官人事を実質的に司る課長として、女性技官の採用や昇進についても自ら直接に関わっていました。

ちなみに林野庁初の総合職女性技官は若くして退職し、2人目が初の女性署長となり、やがては本省課長ともなりました（私の大学の先輩です）。歩みは遅々としておりますが、今では女性技官の層もそれなりに厚くなってきました。

そういう状況を踏まえて、私が携わった女性技官人事として「初めて」のものを掲げれば、総括補佐への登用（複数）、都道府県庁の課長への出向、課長補佐の在宅勤務などでしょうか。私はあまり悩みませんでした。他の人から冒険的と言われたことはありました。

洋の東西を問わず森林・林業の世界は男性中心で、大酒飲みのアウトドアおじさんばかりだったForesterの世界も、近年は「林業女子」や「狩りガール」などの活躍もあり、良い意味で変わってきたものだと思います。

以上、雑ぱくですが、こんなところがDiversityに関係する私の経験です。

男性で行政からの出向という私ですから、勘違いや不慣れなところも多々あろうかと懸念しております。よろしく、ご教示、ご支援のほどお願い申し上げます。

国立研究開発法人 森林総合研究所 理事 桂川 裕樹



DSO事務局の活動報告

平成28年度総会・第1回懇話会&交流会

平成28年9月5日、森林総合研究所大会議室にて、平成28年度DSO総会・懇話会を開催しました。

総会には10機関の代表者や担当者の方々にご出席いただき、平成27年度の活動報告と平成28年度の活動計画（案）が承認されました。また、「つくば女性研究者支援協議会とダイバーシティ・サポート・オフィスとの連携に関する協定書」に関して、協定期間の延長については毎年度のDSO総会において協議・確認することが承認され、次年度総会までの期間延長も承認されました。新会長には森林総合研究所の桂川裕樹理事が選出されました。



懇話会では、まずテーマⅠとして、各機関の女性活躍推進法行動計画が紹介されました。各機関に共通する課題として、女性職員（主として研究職）の採用比率、在職比率、管理職比率の向上が挙げられ、これらを進めるための取り組みとして、パンフレット等の作成・配布で採用応募者を増やす、育児・介護支援策を充実させワーク・ライフ・バランスの向上を図る、女性職員本人や周囲の男性職員（特に上司）の意識啓発のためのセミナー・研修を実施する、などが掲げられていました。ロールモデルやメンター制度への取組みを挙げる機関もありましたが、対象の決め方やモデル・メンターの負担が大きくなるようにする方策などについて、検討事項が多いようです。女性職員を増やす行動計画として、採用の優遇策（アファーマティブアクション）の導入検討を掲げる機関が複数あったことも注目されます。各機関の専門分野や職員数により、女性職員の状況（在職比率など）が異なることや、ダイバーシティを推進する部署の体制（組織の人数、機関内での連携など）も異なる状況が紹介され、有意義な情報交換をすることができました。

次にテーマⅡとして、産業技術総合研究所の井出氏から、公設研究機関を含めたネットワーク作りの試みについての話題提供があり、中国・四国地域で開催された交流イベントについて紹介されました。公設研究機関の女性研究職は各機関1、2名と少なく、専門分野や県単位の枠組みに分かれているためにこれまで交流がほとんど無かったそうですが、今回のイベントが、公設研究機関の女性研究職員相互のネットワーク作りのきっかけになったとのこと。DSO参画機関は全国の各地域にあり、支所やセンターを持つ機関もあることから、今後、同様の交流イベント等をそれぞれの機関や共同で行う可能性が示されました。



総会・懇話会終了後にはささやかな交流会を開催しました。担当者の経験談や苦労話などを交えた会話が弾んで、懇話会とはまた違った貴重な情報共有の場となり、なごやかな雰囲気ですべてを深めました。





DSO参加機関 公開イベントのご案内

■ 森林総合研究所 ■

第21回エンカレッジ推進セミナー

安全衛生の基本は健康管理 ～意外と知らないカラダのしくみ～

【日時】平成28年10月5日 13時30分～15時00分

【講師】前山 雄次 氏（日本成人病予防協会 事務局 参与）

【場所】森林総合研究所本館2階 大会議室（TV会議中継あり）

【問い合わせ先・申込方法】

森林総合研究所ダイバーシティ推進室(geneq@ffpri.affrc.go.jp)

10月4日（火）までに上記アドレスにご連絡ください。

【対象】DSO参加機関



■ 農業・食品産業技術総合研究機構 ■

平成28年度第2回男女共同参画セミナー

「ワークライフバランスセミナー」 イクボスのすすめ～職場革命～

【日時】平成28年10月7日（金） 10時～11時30分

【講師】川島 高之氏（NPO法人コチカラ・ニッポン代表、NPO法人ファザージング・ジャパン 理事）

【場所】食と農の科学館 オリエンテーションルーム（茨城県つくば市観音台3-1-1）

以下の5箇所に配信：北海道農業研究センター 新会議室（札幌市豊平区羊ヶ丘1番地）、東北農業研究センター H棟2F大会議室（盛岡市下厨川字赤平4）、西日本農業研究センター 大会議室（福山市西深津町6-12-1）、九州沖縄農業研究センター 特別会議室（熊本県合志市須屋2421）、農業技術革新工学研究センター 第1会議室（さいたま市北区日進町1-40-2）

【申込方法】10月4日（火）までに下記URLからお申し込み下さい。

<http://pursue.dc.affrc.go.jp/form/fm/naro003/20161007>

[9/23(金)15:00～9/26(月)12:00はメンテナンスのため受付を停止します。]

【問合せ先】農研機構 男女共同参画推進室 029-838-7307

【対象】DSO参加機関





イベント開催報告

■ 農業・食品産業技術総合研究機構 ■

平成28年度第1回男女共同参画セミナー

農村工学分野における女性研究者の等身大の生き方

【実施日】平成28年9月15日（木）

【参加者】12大学からの学生13名を含む会場44名、別途web配信あり。

9月15日に農研機構 農村工学研究部門で、平成28年度第1回男女共同参画セミナーを開催しました。「農村工学分野における女性研究者の等身大の生き方」というテーマで、同研究部門の女性研究者6名が、これまでの研究内容や研究者としての道のりについて講演しました。12大学の13名の学生さんに加え、宮城県、愛知県、森林総研からも参加いただき、女性研究者の等身大の話聞くことができ、また、講演後の施設見学や情報交換会もあり、研究の面白さとやりがいを、実際に感じる良い機会になったと好評でした。

事務局より

今回の総会まで事務局を務めさせていただく森林総合研究所ダイバーシティ推進室の室長、安部です。今回初めて事務局が産業技術総合研究所様から森林総合研究所に移行することになりました。これまでの事務局の方のようにスムーズに努められるか、いささか不安であります。いたらぬところもあるかと思いますが、ダイバーシティ推進のための情報の共有が図られるように頑張っていきたいと思っております。皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

ダイバーシティサポートオフィスのご案内

ダイバーシティ・サポート・オフィス（DSO）は、研究教育19機関をメンバーとして、平成19年より男女共同参画を連携して推進しています。参加機関相互のイベント等の機会提供、情報交換を行っています。当初は、科学技術振興調整費の支援を受けてスタートしましたが、現在はイコールパートナーシップでメンバーが対等に運営する、より開かれたDSOとして活動しています。

*DSOメンバー：産業技術総合研究所、森林総合研究所、物質・材料研究機構、農業・食品産業技術総合研究機構、千葉大学、筑波大学、神戸大学、土木研究所、国立環境研究所、国際農林水産業研究センター、防災科学技術研究所、高エネルギー加速器研究機構、理化学研究所、宮崎大学、上智学院、弘前大学、岡山大学、宇宙航空研究開発機構、大阪大学（加入順）

「DSO News Letter」は各DSO参加機関へ、それぞれの機関で働く方へ、また広く外部に向けて情報発信するツールとして発行しております。当Letterの紹介も歓迎いたします。バックナンバーはDSOホームページにてご覧いただけます。